

県民・事業者の皆様へ

愛媛県知事 中村 時広

## 新型コロナウイルス感染症に関する感染警戒期「特別警戒期間」への引き上げについて

県内では、6月下旬頃から、学校や児童・高齢者施設、職場内、会食、スポーツ活動といった、様々な場面・年代で急激な感染の広がりが見られるようになりました。加えて、社会経済活動を行うための前提条件や会食ルールを逸脱した行動も多く確認されており、この間、本日まで24日連続で前週の同じ曜日を上回る陽性者数となっています。本日公表の陽性者数は1,000名を超え、本県は、第7波というかつてない波に突入したと言わざるを得ません。

さらに県内でも、オミクロン株の「BA.5系統」による感染事例が確認されています。BA.5系統は、現在感染の中心となっているBA.2系統と比較して、感染力が1.2倍程度強く、免疫逃避能力も4倍程度高い可能性が示唆されており、今後、イベントや夏休みの旅行・帰省等による人の動きと合わせ、BA.5系統への置き換えりが急速に進むことによって、一層の感染拡大も強く危惧されます。

また、本日時点での県内のコロナ病床使用率は36%と、医療への負荷も増大しています。本日、コロナ病床を緊急フェーズへの引き上げ（現在307床⇒最大確保病床360床）に向け、各医療機関と調整を開始したところです。

こうした状況を受け、本日から、直ちに県独自の警戒レベルを感染警戒期「特別警戒期間」に引き上げることとしました。

先に感染が拡大した他県の状況を見ても、決して今がピークと考えることはできません。現在、本県は、正に社会経済活動と感染対策の両立を図る「ウィズコロナ」の瀬戸際に立っている状況です。

このまま感染が拡大し、医療負荷が増大して、県民の命に直結するような事態に至れば、夜市や夏祭り、花火大会等のイベントの中止要請などにも至る、一段と厳しい対策（「感染対策期」）に踏み切らざるを得ません。今一度、県民・事業者の皆さん一人ひとりが日々の行動を振り返り、「感染回避」に強く軸足を置き、改めて感染回避行動を再徹底いただくことが極めて重要です。

ついては、県民・事業者の皆様には、

## ○イベント関係

- イベント（夜市、夏祭り、花火大会等）主催者は、三密回避対策の強化と参加者への効果的な呼び掛け（誘導、見回り、注意喚起等）を徹底
  - ・ 定期的な見回りを行い、マスクなしの会話や食べ歩き等への注意喚起
  - ・ 行列や混雑している箇所での誘導 など
- 参加者は、イベント参加時の感染回避行動を徹底
  - ・ マスクなしの会話や食べ歩きは避ける
  - ・ イベント前後の行動（会食、カラオケ等）は特に注意 など
- 市町には、地域イベントの総点検、主催者との感染対策の協議や注意喚起、参加者への呼び掛けを依頼。対策が十分にできない場合、イベントの縮小や中止の働きかけも依頼。

（※県においても、市町と連携して見回りを実施）

## ○会食関係

- 会食ルールの遵守。飲酒を伴う会食は特に注意
- 会食参加後は、周囲の方への二次感染に注意（会食前後の体調確認、無料検査の活用）

## ○高齢者への注意等

- 重症化リスクの高い高齢者や同居家族の方は、混雑した場所への出入りなど感染リスクの高い行動を控える
- 高齢者施設での面会制限を強化

## ○事業者・県民の皆さんへ

今後、陽性者や濃厚接触者の増加に備えた対応として

- 事業者の皆さんには業務継続のため、BCP（業務継続計画）の点検・実施
- 県民の皆さんには、防災の観点も含め、3日分程度の水や食料等を確保

などの要請内容やウィズコロナの前提条件をしっかりと守っていただきますとともに、接種が可能な方は、周囲への感染拡大を抑え、重症化を防ぐためにも、ワクチン接種を夏休み前に受けていただきますようお願い申し上げます。

なお、感染警戒期「特別警戒期間」の対策の詳細等は別添の資料にまとめておりますので、ぜひご一読ください。また、これらの内容を、本日ご説明しましたので、次の2次元コードから録画データをご覧くださいませよう願います。



感染縮小期

感染警戒期

感染警戒期  
～特別警戒期間～

感染対策期

# 7月12日（火）～ 特別警戒期間 確保病床を緊急フェーズ （最大確保病床360床）に引き上げ

- 県内の陽性者数は、一気に1,000人を超え、感染が急拡大。  
県内は、かつてない水準で第7波に突入。
- さらに感染拡大が続けば、入院患者が急増しコロナ病床がひっ迫し、  
一般診療への影響も避けられない。

# 「特別警戒期間」の主な要請内容等①

## ○イベント関係

(特措法第24条第9項)

- ・多くの人出で混雑。三密回避やマスクの着用がおろそかになると感染リスクが高まる。  
(周囲と距離を取らず大声を出す。飲食しながら会話)
- ・開放感で気が緩み、ルールを逸脱した行動で感染拡大  
(イベント前後に羽目を外した飲み会やカラオケ等)

- イベント(夜市、夏祭り、花火大会等)主催者は、  
三密回避対策の強化と参加者への効果的な  
呼び掛け(誘導、見回り、注意喚起等)を徹底
- 参加者は、  
イベント参加時の感染回避行動を徹底
- 市町は、  
主催者への注意喚起と参加者への呼び掛けを依頼 (協力依頼)  
※県においても市町と連携し、イベントの見回りを実施

# 「特別警戒期間」の主な要請内容等②

## ○会食関係

(特措法第24条第9項)

- ルールを逸脱した会食で感染が広がるケースが多発  
(大人数のパーティーで長時間飲酒しクラスターが発生、  
対策が不十分な飲み会で全員感染等)
- 久しぶりの会食だからと気を緩め羽目を外すと、  
感染リスクが一気に高まる。  
(イベント前後に仲間が集まり大勢で騒ぎながら飲酒)
- 会食ルールの遵守。飲酒を伴う会食は特に注意
- 会食参加後は、周囲への二次感染に注意  
(会食前後の体調確認、無料検査の活用)

# 「特別警戒期間」の主な要請内容等③

## ○高齢者への注意等 (協力依頼)

- 重症化リスクの高い高齢者や、同居家族は、混雑した場所への出入りなど感染リスクの高い行動を控える
- 高齢者施設での面会制限を強化

## ○事業者・県民の皆さんへ (協力依頼)

今後、陽性者や濃厚接触者の増加に備えた対応として

- 事業者の皆さんには、  
業務継続のため、BCP(業務継続計画)の点検・実施
- 県民の皆さんには、  
防災の観点も含め、3日分程度の水や食料等を確保

## 「特別警戒期間」の主な要請内容等④

- ◇社会経済活動を行うための前提条件を逸脱した行動が多く確認されている状況。「感染回避」に強く軸足を置いた行動を。
- ◇さらに感染拡大が止まらず、医療ひっ迫が進めば、「感染対策期」への引き上げ、夜市、花火大会や夏祭り等のイベントの中止要請などにも至るおそれ。
- ◇BA. 5の影響もあり感染リスクが非常に高い状況。行動制限や社会経済活動の制約を招く事態にならないよう感染回避行動の再徹底を。

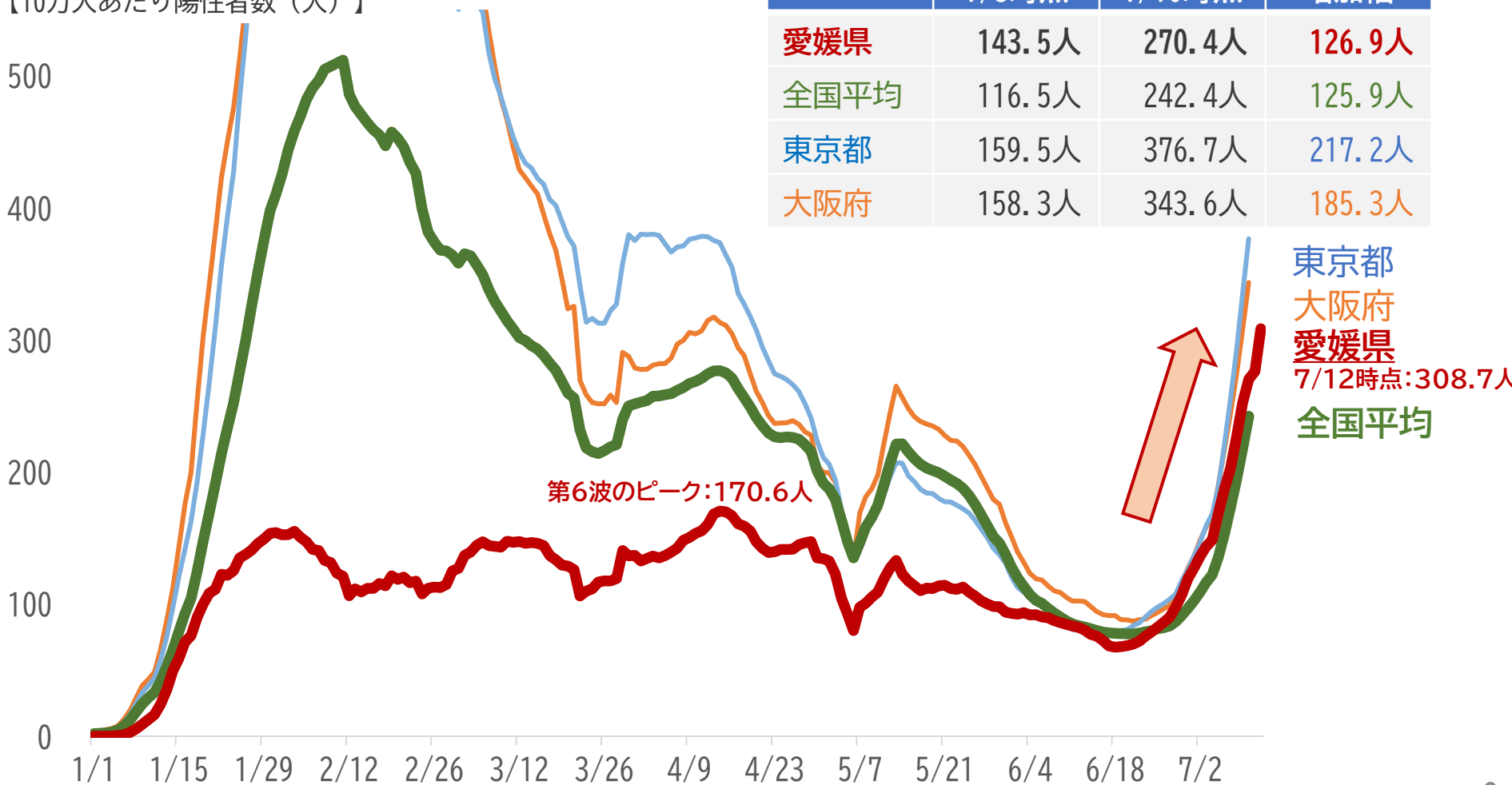
# 本県と全国の陽性者数の推移（人口10万人あたり）

- 6月下旬以降、BA.5等の影響で全国的に感染が急拡大。
- 本県の陽性者数の増加幅は、全国平均を上回っている状況。

【直近1週間の人口10万人あたり陽性者数】

	7/3時点	7/10時点	増加幅
愛媛県	143.5人	270.4人	126.9人
全国平均	116.5人	242.4人	125.9人
東京都	159.5人	376.7人	217.2人
大阪府	158.3人	343.6人	185.3人

【10万人あたり陽性者数（人）】



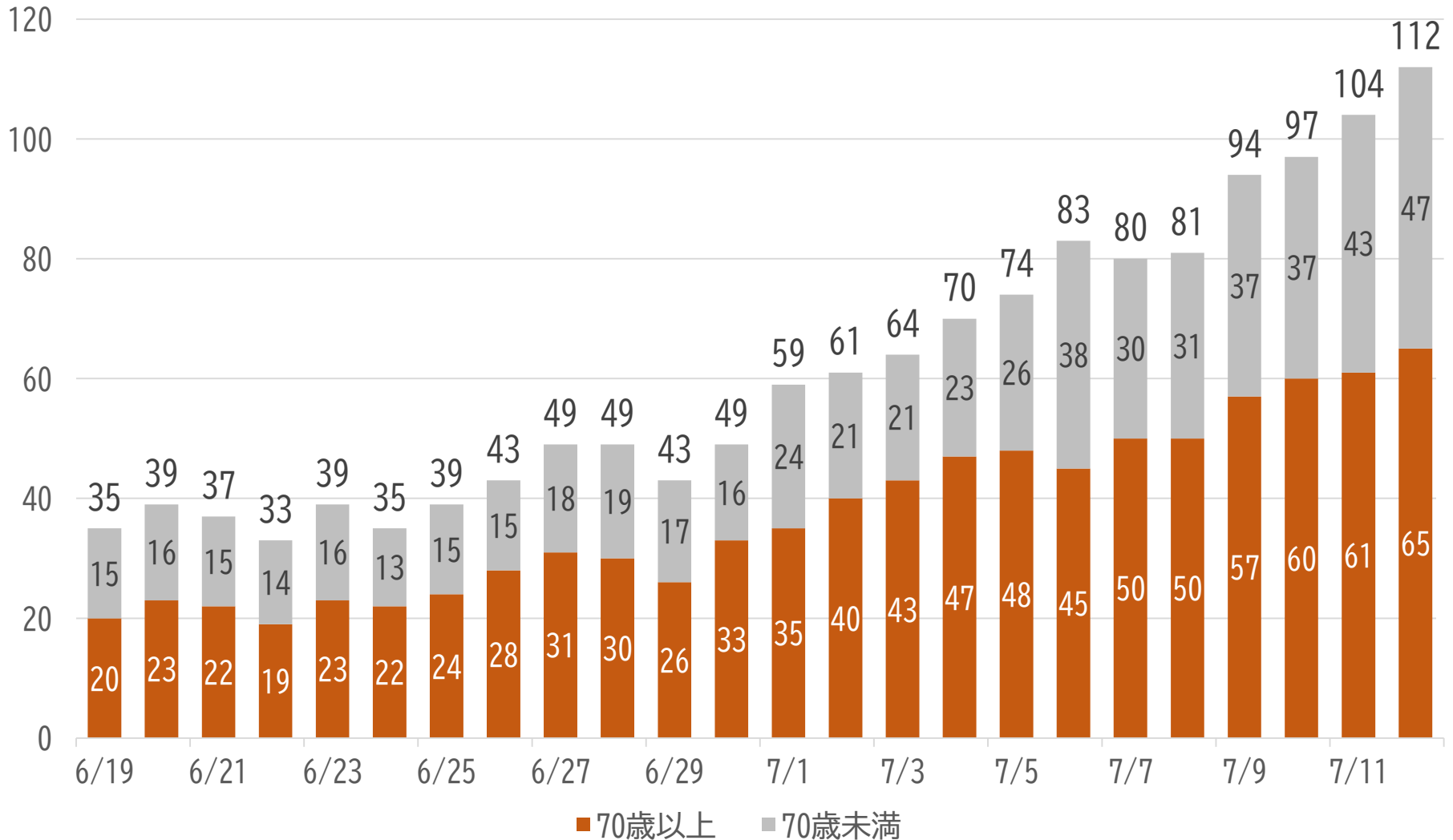
※ R4.1.1～7.10公表分（本県は7.12公表分まで）



# 年代別（70歳以上・70歳未満）入院者数の推移

- 入院者数は、約3週間で3倍となり、急激に増加。
- 重症化リスクの高い70歳以上の入院患者数も同様に増加。

【入院者数（人）】



# 地域別病床使用率（中等症）の推移

- 病床使用率は、全ての地域で30%を超え、  
特に東予は40%を超えるなど、最も医療負荷が高い状況。
- 更に感染拡大が続けば、医療がひっ迫し、一般診療への影響が懸念。

【病床使用率】

